

元国土交通大臣 前田武志様 挨拶

ご紹介いただいた前田武志と申します。今日は、日本水循環文化研究協会の設立総会、おめでとうございます。本日はまた、第2回の「水循環基本法を動かすシンポジウム」ということですが、第1回から第2回にかけて、ずいぶんいろいろな経緯があったともお話を伺っておりました。水循環基本法は、関係者の皆さま方が熱心に、全国で活動されて、その熱意が実って、議員立法で平成26年に法律化されました。そこに至るまでは皆さま方の熱意と、そして国会においても、そういう動きが広がったんですね。皆さま方の活動の成果であるし、また政治の動きというか、あの当時、国会のなかでもそういう動きを受け止められるような中身があったんですね。今はちょっと駄目ですね。それで嘉田由紀子先生に基調講演をお願いしているということなんだろうと思っています。

しかし、皆さま方は水循環の持っている意味というものを水循環基本計画に反映をさせるために、具体的に全国で動かしていこうとされているわけですが、そこに至るまでに、皆さま方の熱意で実った議員立法というのは、各役所が本当に我がこととして魂を入れて頑張ろうというところまでなかなか行かないんですよ。だからこそ皆さま方の運動、こういう素晴らしい会というものが非常に多くの意味があるし、期待をしているわけであります。

ということで、皆さま方の会の活動というのは非常に大きな意味があります。特に、こんな格好で歩いてきたのですが、暑いですね。6月のこの時期なのに厳しい暑さです。やっぱりもう我が国の国民だけでなく、世界の人々が地球環境はおかしいぞというのが意識の中にはあるはずですよ。おまけにウクライナの戦争でしょう。これでまた、水循環は変化しますよ。こういう地球規模の大きな変化が起きています。

そういう中で、われわれの生活圏では流域ごとに水は循環するのですから、そこをしっかりと守っていくということが、これほど大切な時期はないと思います。老兵でございますが、皆さま方に一言、ご激励を申し上げたくて参上したしだいであります。誠にありがとうございました。

(来賓挨拶終了)